

令和 7 年度
砂防設備長寿命化計画策定業務委託(砂防・補助)

特記仕様書

福島県土木部砂防課

第1条 適用範囲

本仕様書は、「砂防設備長寿命化計画策定業務」(以下、「本業務」という)に適用する。

第2条 業務目的

平成28年に策定した福島県砂防関係施設長寿命化計画を、令和4年3月に改訂された「砂防関係施設の長寿命化計画策定ガイドライン(案)」(令和4年3月水管理・国土保全局砂防部保全課)を踏まえ、砂防堰堤を対象として必要な資料の収集整理、施設の劣化予測、維持、修繕、改築、更新等に要する費用の設定や年次計画の策定を令和4年度に実施した。

本業務では、過年度調査以降の劣化の進行の把握・評価、優先度の再整理等、新技術等の活用による短期的な数値目標及びそのコスト削減効果の検討、及び整備実施主体の各建設事務所が整備準備・予算要求を行うにあたっての基礎データとなる資料作成を目的とする。

第3条 適用仕様書

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書に従うほか、福島県土木部制定「共通仕様書(業務委託編)」、「砂防関係施設の長寿命化計画策定ガイドライン(案)」(令和4年3月水管理・国土保全局砂防部保全課)に準拠し、その他関係する指針・示方書によらなければならない。また、参考文献等使用の場合は、その出典を成果物に明記すること。

第4条 対象施設

県が管理する以下の施設を対象とする。なお、施設数、延長は前後する場合がある。

- ・砂防堰堤 1,236箇所
- ・流路工 10km(県内計約321kmのうち長寿命化対策が必要な区間を抽出し検討する)

第5条 業務内容

1 計画準備

業務の目的、内容、既往検討資料を把握したうえで作業方針及び作業工程等を立案し、共通仕様書第1112条第2項に示す事項について、業務計画書を作成し発注者に提出するとともに、業務に必要な準備作業を行う。

2 資料収集・整理

業務の実施にあたり、既存の長寿命化計画、健全度判定結果、点検記録等及び現行基準により令和4年度作成済みの砂防施設の長寿命化計画検討結果を含めて収集・整理する。施設種別ごとの整合性・記載項目を確認し、統合整理を行うものとする。

整理の際には、竣工年、構造区分などを確認し、欠損データを補完するものとする。既存の施設台帳が紙のみの場合は、スキャンにより電子化を行う。ベクター化やGIS属性の整備は本業務の範囲外とする。

3 健全度再評価

調査時点までに実施された健全度判定を基礎データとして、経過年数・補修履歴・重要度を考慮し、現行基準に基づく再評価を行う。

4 施設の劣化予測及び対策優先度設定

再評価した健全度結果を初期値として、劣化予測は、既往点検結果の経過年数等をもとに一般的な劣化傾向を設定し、将来の状態を推定する。なお、解析手法は合理的な統計的・経験的手法の範囲とし、受注後、監督員と協議のうえ、決定するものとする。劣化予測後、施設の重要度・劣化度・リスク指標を組み合わせ、対策優先度を設定する。

これらは、令和4年度以降の対策箇所を踏まえて実施する。

5 対策方針及び事業費平準化

過年度の検討資料を基に補修等の対策方針を整理し、概算事業費及び平準化方針を示す。この際、測量設計と用地補償額について一律ではなく、補償・改築の内容に応じて金額を算定するものとする。また、予防保全的維持管理によるコスト縮減効果の方向性を整理する。なお、修繕費の設定については、標準的な施工歩掛に基づいて算出するものとする。

以上をまとめ、建設事務所管内ごとの整備計画を策定するものとする。

6 新技術等の活用などの短期的な数値目標及びコスト縮減効果の検討

点検、修繕、改築に係る新技術等の活用検討は、過年度検討の既存資料及び一般的適用事例の収集・整理による文献調査を基本とし、実証実験等は本業務の範囲外とする。その新技術等の活用による短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果を検討する。

7 維持管理・点検方針の整理

既往健全度結果及び、各施設の健全度や重要度に応じた点検頻度を設定し、経過観察方法を検討し、次回詳細点検の実施時期・対象選定の考え方を整理する。また、建設事務所ごとの維持管理・点検方針をまとめる。

8 照査

業務開始時に発注者の承認を得た照査計画に基づき照査を実施する。

9 報告書作成

業務目的を踏まえ、上記各項目の検討結果を反映した長寿命化計画書、健全度評価表、修繕及び点検計画年次表、長寿命化計画概要書(A4 横版)を作成する。

第6条 打合せ等

本業務における打合せは、次のとおりとし、当初基本方針打合せ及び成果物納入時においては、管理技術者も立ち会うものとする。

	主要な区切	調査業務
1	当初打合せ ✓	基本方針打合せ時
2	中間打合せ(3回) ✓	資料収集時、劣化予測完了時、計画案策定時
3	成果物納入 ✓	成果物納入時 ✓

第7条 積算基地

積算基地は福島市とする。なお、契約後は変更しない。

第8条 貸与資料

- 第 21-41045-0007 号 長寿命化計画策定業務委託(砂防・交付)
- 福島県砂防設備長寿命化計画(平成 28 年 5 月策定)
- 長寿命化点検結果

第9条 成果物

成果物は共通仕様書で定める他、下記のものを提出するものとする。

- 紙媒体(簡易ファイル 参考資料、概要版含む) 1部
- 電子媒体(CD-R 等) 2部

第10条 その他

本業務にあたり不明な点については監督員と協議のこと。